

世界でいちばん大きい花は何なの

ラフレシアが最大

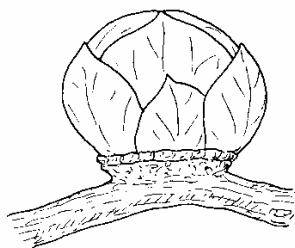
今、いちばん大きい花の植物といえば、ラフレシアになります。

1818年、スマトラを探検したイギリス人が発見した、ラフレシアは、葉もくきもなく、巨大な花だけが咲く植物です。ブドウの仲間である、つる性植物に寄生して生きているため、葉がないのです。

花の大きさは、90センチメートル、5枚の赤かっ色の花びらには、白い点々模様があります。花びらの厚さは、およそ2センチメートルで、一つの花の重さは、11キログラムにもなります。

ハエを集めるため、くさった肉のにおいを出す

そして、鼻が曲がりそうなくらい強い、肉などがくさったときのような、いやなにおいを出しています。この花は、おしべの花粉を、めしべに運ぶのがハエで、ハエを集めるため、ハエが好きな、肉のくさったにおいを出しているのです。（監修・矢野 亮）



つぼみ

ラフレシアの花

